

葛飾清掃工場のデザイン(公共の色彩賞:環境色彩 10 選に選ばれました！)

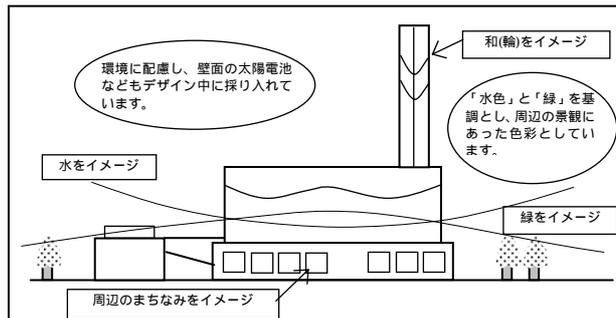
葛飾清掃工場のデザインは、立地する地域の特性、周辺地域への配慮から「水と緑につつまれた清掃工場」、「閑静なまちなみの中の清掃工場」、「心ふれあうまちの清掃工場」のキーワードを基に行いました。

煙突は地域のランドマークとなり、環境に対する意識をアピールするものとして、心ふれあうまちから心の和(輪)、人の和(輪)をイメージしています。また、圧迫感を軽減するため、縦スリットを採用し、細く見せています。

ブルーは空・水の青さをイメージしており、葛飾区のコミュニケーションマークで使用されているブルーを採用しています。このブルーと白とのコントラストをはっきりさせることによって、建物をすっきりと見せています。



葛飾清掃工場



デザインの概念図

この景観にある住民の方が注目し、その方の推薦により、本年 10 月に公共の色彩を考える会主催の「第 21 回公共の色彩賞 - 環境色彩 10 選」として全国 10 選の 1 つに選ばれました。壁面や煙突に使ったブルーは、思い描いた色を出すのに大変苦労し、建設担当としては、今回の入選には感慨深いものがあります。

葛飾清掃工場が、今後とも地域の皆様に愛される公共施設として在り続けられるよう努めてまいります。

中学生が 5 日間の職場体験を行いました ~ 江戸川清掃工場 ~

江戸川区では「チャレンジ・ザ・ドリーム」と銘打ち、区内の中学 2 年生全員を対象に 5 日間の職場体験事業を実施しています。江戸川清掃工場でも二人の中学生が職場体験を行いました。

今回、職場体験をしたのは、江戸川区立東葛西中学校の赤崎修一さんと福山新之典さんです。

二人は江戸川清掃工場で、5 日間にわたり、燃焼状況等監視業務、設備巡視点検業務、清掃車両の計量受付業務、車両監視業務などを体験しました。体験業務の感想を聞いたところ、二人が口を揃えて興味深かったと話したことの一つに分析業務がありました。

清掃工場には工場から出る汚水を処理するための下水処理設備があります。この設備が正常に稼働しているか確認するため、実際に処理後の水を採取し、分析しています。このことで環境に悪影響が及ばないようにしています。二人は目の前で起きる化学的な現象に目を輝かせていました。また、「清掃工場はう



分析業務の様子 減温塔にあるポンプのバルブ点検

段差解消スロープの塗装 工場長から終了証を手渡される実習生

るさくて、くさい」という当初持っていたイメージも大きく変わったと話していました。

この体験は、二人にとって将来のことを考える契機になったと思われます。江戸川清掃工場では、地域の方々とのコミュニケーションを深めていくことが、清掃工場を理解していただく良い機会と考え、今後も積極的に職場体験の受け入れを行っていきます。